

D-1 一次産業の振興

1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

豊かな農林資源を次世代へ継承し、地域経済を支える一次産業の競争力と持続性を高め、暮らしと自然が調和した活力あるまちを実現します。そのため、担い手の確保・育成と生産基盤の強化により、安定した農業経営と品質向上を図ります。また、地域特産品の振興とさらに基幹産業である畜産業の更なる強化により、地域内循環と持続可能な成長を目指します。

2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
農業従事者の高齢化と担い手不足の深刻化	若者の就農促進と既存農業者への支援強化により、持続可能な農業経営の継続と技術継承を図ることが必要です。
気候変動による生産リスクの増大	生産基盤の整備と経営力強化により、気候変動に対応した持続可能で効率的な農業システムの構築が必要です。
畜産業の更なる発展と知名度向上への期待	畜産業の生産基盤確保と収益力向上により、基幹産業としての地位強化と後継者確保を図ることが必要です。

3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
担い手の確保・育成支援	新規就農者支援、農業技術研修実施、農業経営指導、後継者育成支援	新規就農者増加、技術力向上、経営安定化、世代交代促進
生産基盤と経営力の強化	農業基盤整備、スマート農業導入支援、環境保全型農業推進、経営効率化支援	生産性向上、環境負荷軽減、経営効率化、品質向上、農業経営安定
地域特産品の振興とブランド化	新商品・新サービス開発、ゆず生産・加工	地場産業活性化、農家所得の向上、特産品産地化
畜産業のさらなる強化	畜産施設整備支援、家畜防疫体制強化、畜産経営支援	生産能力向上、品質安全確保、経営安定化

4 目指すSDGsのゴール



5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
新市まちづくり計画	新たな市制施行に伴い、都市機能の再編や行政サービスの整備、地域資源の活用などを通じて将来のまちづくりの方向性を示す計画	
曾於市過疎地域持続的発展計画	過疎地域における定住促進や産業振興、生活環境の整備などを通じて地域資源を活かした持続可能な地域社会の形成と活力向上を目指す	(2026～2030)
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026～2030)
曾於市鳥獣被害防止計画	有害鳥獣の捕獲や生息環境管理、防護柵設置などの対策を計画的に実施し、農林業や生活環境への被害を軽減するための3か年計画	2024～2026
地域計画	農地の保全や土地利用の調整、営農環境の改善など地域の土地利用計画を定め、農業振興と住環境の調和を図る計画	

D-2 地域産業の振興と起業支援

1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

多様な産業が調和し、新たなビジネスチャンスが生まれる活力ある産業のまちを実現します。そのため、産業基盤の整備と企業誘致により、安定した雇用の場を創出し、地域経済の活性化を図ります。また、起業・創業支援の充実により、新たな事業の創出と地域イノベーションを促進し、さらに地域商業の活性化と産業人材の育成により、持続可能な地域産業エコシステムを構築します。

2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
企業誘致と既存企業の経営基盤強化への要請	産業基盤の整備と企業支援の充実により、新規企業誘致と地域産業の活性化を図ることが必要です。
起業・創業への関心拡大と支援体制整備への期待	起業・創業支援体制の充実とチャレンジ機会の創出により、新たなビジネス創出と地域経済の多様化が必要です。
地域商業の活性化と利便性向上への要請	地域商業の振興と買い物環境の整備により、商業機能の維持・向上と市民生活の利便性確保が必要です。
産業人材不足と後継者問題の深刻化	産業人材の育成・確保と後継者支援により、地域産業の持続的発展と技術・ノウハウの継承が必要です。

3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
産業基盤の整備と企業等の誘致・経営支援	工業団地整備、企業誘致活動、経営支援・相談、融資制度充実	企業立地促進、雇用創出、経営基盤強化、地域経済活性化
起業・創業支援とチャレンジ機会の創出	起業支援制度充実、創業塾開催、ビジネスマッチング、インキュベーション機能強化	新規事業創出、起業家育成、イノベーション促進、経済多様化
地域商業の活性化と買い物環境整備	商店街活性化支援、買い物支援サービス、商業施設整備、地産地消推進	商業機能維持、買い物利便性向上、地域内循環促進、商業振興
産業人材・後継者の育成と確保	職業訓練実施、技術研修支援、後継者育成支援、産学連携推進、新規採用に係る費用支援	技術力向上、人材確保、後継者育成、産業競争力強化

4 目指すSDGsのゴール

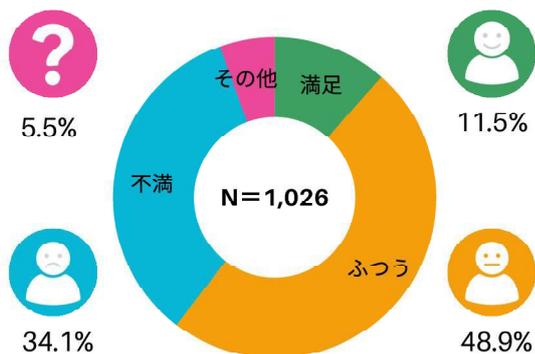


5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
新市まちづくり計画	新たな市制施行に伴い、都市機能の再編や行政サービスの整備、地域資源の活用などを通じて将来のまちづくりの方向性を示す計画	
曾於市過疎地域持続的発展計画	過疎地域における定住促進や産業振興、生活環境の整備などを通じて地域資源を活かした持続可能な地域社会の形成と活力向上を目指す	(2026～2030)
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026～2030)

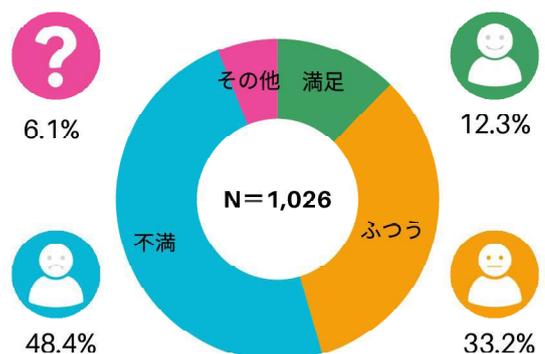
市民意識調査結果 (2024)

起業や創業、事業拡大の環境が整っているか？【問15-21満足度】



市民意識調査結果 (2024)

やりたい仕事を見つけやすいか？【問15-23満足度】



D-3 観光・交流によるにぎわいの創出

1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

地域の豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、多くの人が訪れ交流する魅力あふれるまちを実現します。そのために、地域資源の再発掘と観光資源化により、新たな魅力を創出し、地域の価値向上を図ります。また、関係人口の創出と教育旅行・地域間交流の推進により、継続的な交流関係を構築し、さらに歴史・文化・イベントを核とした交流経済の創出により、地域経済の活性化と持続可能な観光振興を目指します。

2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
地域資源の潜在的価値と観光資源化への期待	地域に埋もれている資源の再発掘と観光資源としての活用により、地域の魅力向上と新たな観光コンテンツの創出が必要です。
関係人口創出と継続的交流への関心拡大	関係人口の拡大と教育旅行・地域間交流の推進により、継続的な交流関係の構築と地域ファンの獲得が必要です。
歴史・文化資源を活用した交流経済への期待	歴史・文化・イベントを核とした交流事業の充実により、観光消費の拡大と地域経済への波及効果の創出が必要です。
宿泊先の充実化、滞在型観光の推進	市内に宿泊施設が少ないため、民間の力を得ながら、観光客等が滞在できるような宿泊施設の誘致を推進する必要があります。

3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
地域資源の再発掘と観光資源化	地域資源調査・発掘、観光コンテンツ開発、観光施設整備、魅力発信強化	新たな観光資源創出、地域魅力向上、観光客増加、認知度向上
関係人口・教育旅行・地域間交流の推進	関係人口創出事業、教育旅行誘致、姉妹都市交流、体験プログラム充実	関係人口拡大、教育旅行増加、交流人口増加、地域ファン獲得
歴史や文化・イベントを核とした交流経済の創出	歴史文化活用事業、イベント開催支援、観光プロモーション、受入体制整備	交流人口拡大、観光消費増加、地域経済活性化、文化継承

4 目指すSDGsのゴール

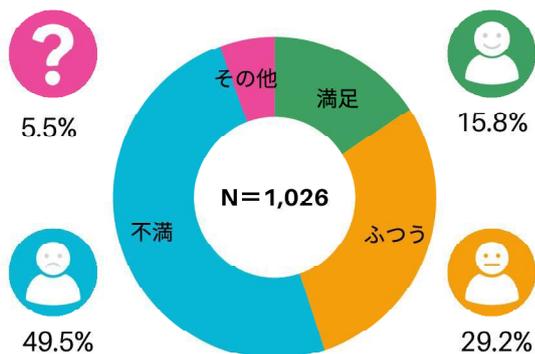


5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
曾於市公園施設長寿命化計画	公園施設の老朽化に対応し、計画的な修繕や更新、利用環境の改善を通じて安全で魅力的な公園空間の継続的な提供を図る計画	2022～2031
新市まちづくり計画	新たな市制施行に伴い、都市機能の再編や行政サービスの整備、地域資源の活用などを通じて将来のまちづくりの方向性を示す計画	
曾於市過疎地域持続的発展計画	過疎地域における定住促進や産業振興、生活環境の整備などを通じて地域資源を活かした持続可能な地域社会の形成と活力向上を目指す	(2026～2030)
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026～2030)

市民意識調査結果 (2024)

飲食を楽しむ場所が充実しているか？
【問15- 6 満足度】



市民意識調査結果 (2024)

観光客が訪れ、地域が賑わっているか？
【問15-25満足度】

